

第124回(2023年9月度)監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 豊島 秀一
(文責:豊島 秀一)

1. 開催日時 2023年9月1日(金) 午後2時00分~午後5時00分
2. 開催方法・場所 会場(文京シビックホール3階会議室2)・オンライン(ZOOM)併用方式
講師は会場より解説
司会(委員長)は会場で進行
委員は会場で会議サポート
3. テーマ 経営問題としての品質コンプライアンス
4. 講師 KPMG コンサルティング アソシエイトパートナー 水戸 貴之氏
5. 出席者 51名(会場参加11名、オンライン参加40名)
6. 配布資料 (事前に委員長から参加申込者に対してメールで参加案内と添付ファイルで送付・監査懇話会HPに掲載)
第124回監査懇話会監査技術ゼミ
「経営問題としての品質コンプライアンス」KPMG コンサルティング水戸貴之講師
7. 議事次第

1) 運営委員長より開会の挨拶

オンライン参加者のZOOM接続状況を確認したのち、開会挨拶と本日のテーマ紹介を行い、講師の水戸貴之氏を紹介した。
なお出席者の内、当委員会への初参加者は以下の通り
東洋システム開発㈱ 監査役 土屋 淳一氏
松井証券(株) 取締役監査等委員 高橋 武文氏

続いて、監査技術ゼミの趣旨について説明を行った。
監査技術ゼミは、「時宜を得たテーマを設定、その分野の外部講師をお招きしてゼミナールスタイルで開催していること」と、「質疑応答を通して会員・会友との意見交換を大切にしていること」を説明した。
今回は、監査役にとって会社そして経営を診ていく上で重要事項である『品質』をテーマとして開催することを説明した。

2) 講義

午後2時5分より、講師が資料に沿って講演を行い、3時に前半を終了した。
休憩をはさみ、3時10分から、後半の講演が行われ、4時15分に終了した。

3) 質疑応答および意見交換等

講義終了後、ただちに出席会員会友と質疑応答ならびに意見交換が行われた。
質疑応答および意見交換における項目は以下の通り。
・ 不正に関する発言者に対するリカバー方法について

- ・ 業務の多能工化と品質について
- ・ 品質への監査について、内部監査部門との連携は
- ・ IPOに向けた品質について
- ・ 品質とスークホルダーについて
…品質と人の大切さ
- ・ 有事対応としてランサムウェア攻撃に対応した事例紹介
…製造業での情報は大切な品質
- ・ 検査設備と生産設備のギャップについて
- ・ 過剰になっている品質について
…韓国・中国の品質の優位について説明
- ・ 部品会社として自動車会社との設計品質について
- ・ 親会社と子会社との連携について
- ・ 子会社の品質担保に対して親会社が背負う責任について
- ・ 品質不正は原価管理から見出すことができるか
- ・ 不正を見つける兆候として設備投資、検査機器投資、工場の5Sの重要性
- ・ 製品の性能に対する過剰設計と設計能力のリカバーを製品品質に求めすぎている現状
- ・ 管理会計の重要性

以上について、講師から丁寧に応答された。

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答および意見交換の後、運営委員長より講師に感謝の意を表した。
また参加者に対しアンケートへの協力要請（後日メールで発信）を行なった。

次回の監査技術ゼミ 2023年10月3日(火)開催予定の旨を案内して、午後4時50分に閉会となった。

以上